困ったときは

DVD/CDライティングドライブユーザーズマニュアルと併せてお読みください(こちらをクリックすると表示されます)。

注意

最新の情報は、弊社ホームページ(buffalo.jp)を参照してください。ホームページには最新のQ&Aや仕様などの情報が案内されています。
また、本書やホームページの情報を見ても改善しない場合は、サポートセンターにお問合せください。

●添付ソフトウェアについてのお問合せ

→ 添付されている各ソフトウェアのお問合せについては、別紙「付属ソフトについて」を参照してください。

●ドライブについてのお問合せ

→ 株式会社バッファロー　サポートセンター
電話番号、FAX番号については別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

メモ

製品を修理したいときは、別紙「はじめにお読みください」の「修理について」をお読みください。

一般的なトラブル

DMA転送が有効にならない（WindowsMe/98SE/98）

DMA転送を有効にする設定【セットアップ-⑥「WindowsMe/98SE/98の設定」】をした後でパソコンを再起動すると、設定が元に戻ってしまう（DMA転送が有効にならない）ことがあります。次の手順で再設定してください。

① セットアップ-⑥のDMA転送の設定 1 ～ 4 を行います。
② 本製品のデバイス名をクリックし、[削除(E)]をクリックします。
③ [デバイス削除の確認]ウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックします。
④ [閉じる]ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。
⑤ セットアップ-⑥を参照し、DMA転送を有効にする設定を再度行ってください。

DMA転送設定後、WindowsMe/98SE/98が起動しない

お使いのパソコンによっては、DMA転送に設定するとWindowsが起動しないことがあります。次の手順でDMAの設定を解除してください。

① <ctrl>キーを押しながらパソコンの電源スイッチをONにします([Startup Menu]が表示されるまで押し続けてください)。
② [Startup Menu]が表示されたら、[Safe Mode]で起動します。
③ デスクトップ画面の[マイコンピュータ]アイコンを選択し、マウスで右クリックします。
④ 表示されたメニューから、[プロパティ(R)]をクリックします。
⑤ [デバイスマネージャー]タブをクリックします。
⑥ [CD-ROM]の中の本製品のデバイス名を選択し、[削除(E)]をクリックします。
⑦ Windowsを再起動します。

特定のソフトウェアで本製品が使用できない

パソコンに標準搭載されているドライブ専用に作られたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のドライブを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。
※ソフトウェアの仕様は、ソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

再生ソフトウェアによっては、本製品のドライブ名が内蔵のCD・DVDドライブよりも前に割り当てられていると再生できないことがあります。そのようなときはデバイスマネージャからドライブのプロパティを開き、ドライブ名を変更してください。
（例）○：Eドライブ（内蔵CD・DVDドライブ）/Fドライブ（本製品）
×：Eドライブ（本製品）/Fドライブ（内蔵CD・DVDドライブ）

パソコンの電源スイッチをONにしてもドライブの電源が入らない

電源ケーブルが正しく接続されていない

パソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにして、電源ケーブルが本製品の電源コネクタに正しく接続されているか確認してください。

パソコンが起動しない

フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っている

フロッピーディスクを取り出して、パソコンを再起動してください。

メディアが入らない

メディアがトレーに正しくセットされていない

メディアを正しくセットし直してください。

ドライブに電源ケーブルが接続されていない

電源ケーブルを接続してください。

メディアが使用できない

メディアが対応していない

別紙「はじめにお読みください」に記載の書き込み動作確認メディアを参照ください。記載にないメディアの場合、書き込みができない（または書き込んでも読み出すことができない）ことあります。このようなときは、書き込み速度を下げて書き込みをおこなってください。

正しいドライブにアクセスしていない

データを読み出すときは、CD-ROM（WindowsXPの場合はDVD-Rドライブ）のアイコンを開いてください。

アクセスランプが点灯しない

メディアがトレーに正しくセットされていない

イジェクトボタンを押してトレーを排出し、メディアを正しくセットし直してください。

インターフェースケーブルが正しく接続されていない

パソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにして、インターフェースケーブルが本製品のインターフェースコネクタに正しく接続されているか確認してください。

イジェクトボタンを押してもトレーが排出されない

本製品のイジェクトボタンを押してもトレーが排出されないことがあります。その場合は、画面上でCD-ROM(WindowsXPの場合はDVD-Rドライブ)のアイコンを右クリックし、[取り出し]を選択してください。

パソコンの電源が入っていない

パソコンの電源スイッチがONになっているか、パソコンの電源ケーブルはACコンセントに正しく接続されているか確認してください。

トレーに何か引っかかっている

トレーを確認してください。

ドライブに電源ケーブルが接続されていない

ドライブに電源ケーブルを接続してください。

パケットライティングソフトでフォーマットしたメディアを使用している

パケットライティングソフトでフォーマットしたメディアをセットした場合、本製品のイジェクトボタンを押しても、トレーが排出されません。画面上でCD-ROM(WindowsXPの場合はDVD-Rドライブ)のアイコンを右クリックし、[取り出し]を選択してください。

本製品がパソコンに認識されない

インターフェースケーブルが正しく接続されていない

インターフェースケーブルのコネクタが逆向きに差し込まれていると認識されません。向きを確認し、再度インターフェースケーブルを取り付けなおしてください。

ジャンパスイッチの設定が正しくない

ドライブ背面にあるジャンパスイッチの「マスタ(MASTER)」「スレーブ(SLAVE)」の設定が正しくないと認識されません。別紙「はじめにお読みください」を参照し、正しく設定を行ってください。

※お使いのパソコンによっては、パソコン側のBIOSやハードディスクのジャンパスイッチの設定も変更しなければならない場合があります。
お使いのパソコンのマニュアルを参照し、正しく設定を行ってください。

読み出し時のトラブル

読み出し時にエラーが発生する

メディアが汚れている、または破損している

メディアの記録面に傷や汚れが付いていると、正しく読み出せません。ほこりなどが付着しているときは市販のダストクリーナーなどで除去してください。

メディアが裏返しになっている

メディアを取り出し、メディアのレーベル面を上に向けてトレーに載せてください。

メディアが読み出せない

ドライブが対応していない

ドライブによって読み出しのできるメディアは異なります。メディアを読み出すときは、お使いのドライブが、読み出したいメディアに対応しているか確認してください。

セッションが読み出せない

書き込み時に最後のセッションを読み込まないように設定している

ライティングソフトウェアで書き込む際に、最後のセッションを読み込まないように設定していると、新しく書き込んだセッションだけが読み出せるようになります。最後に書き込んだセッションも読み出したいときは、最後のセッションを参照するように設定して書き込んでください。

WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでファイル名が化ける

ロングファイル名を使用したデータを書き込んだ

WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSはロングファイル名に対応していないため、RomeoやJolietで書き込まれたデータはファイル名が化けることがあります。WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでCDを読み出すときは、DOS名(8+3形式)で書き込んでください。

パケットライト方式で書き込んだメディアを読み出せない

パケットライティングソフトをインストールしていないパソコンを使用している

パケットライティングソフト(またはリードドライバ)をインストールしてください。

ドライブがパケットライト方式に対応していない

ドライブによっては、パケットライト方式に対応していないことがあります。対応したドライブで読み出してください。

読み出しを行うパソコンにパケットライティングソフトのリードドライバがインストールされていない

WindowsMe/98SE/98をお使いの場合、読み出すパソコンにもパケットライティングソフトのリードドライバをインストールしていないと読み出せません。パケットライティングソフトのドライバをインストールしてください。

本製品以外のドライブで読み出している

2層のDVD+Rにパケットライト方式で書き込みを行うと、本製品以外のドライブでは読み出せません。パケットライト方式で書き込んだ2層のDVDメディアは、本製品で読み出してください。

読み出し時に異音がする

メディアにシールが貼られている

メディアにシールなどを貼っていると、メディアの重心が偏り、回転時に振動が発生することがあります。絶対にシールなどを貼らないでください。

データが4GB以上のマルチボーダー（マルチセッション）DVDで、2番目以降のボーダーが読み出せない

データが4GB以上のDVDを読み出している

Windows2000およびWindowsXPでは、マルチボーダー（マルチセッション）で作成されたDVDのデータのサイズが4GBを超えると、ボーダーの組み合わせにかかわらず、最初のボーダーしか読み出せません。
詳しくは、以下のマイクロソフト社ホームページの案内をご参照ください（2004年7月現在）。

http://support.microsoft.com/default.aspx?scid=kb;ja;JP329112

2層のDVD+Rに書き込んだデータを読み出している

2層のDVD+Rメディアに追記（マルチボーダー/マルチセッション）で書き込みを行った場合、本製品以外のドライブでは最初のデータしか読み出すことができません。2番目以降のデータを読み出したいときは、本製品で読み出してください。

追記したDVD-R、DVD+Rメディアが読み出せない

ドライブが対応していない（本製品以外のドライブを使用している場合）

ドライブによっては、DVD-R、DVD+Rの追記メディアに対応していないことがあります。
その場合、一番最初に書き込んだデータしか読み出せないことがあります。

OSが対応していない

DVD-R、DVD+Rの追記メディアに対応したOSは、WindowsXPおよびWindows2000(Service Pack3以降)です。
それ以外のOSは、追記メディアの読み出しに対応していません。

音楽CDを再生しても音声が出力されない、音楽CDを再生するとシステムが停止する

メディアがトレーに正しくセットされていない

イジェクトボタンを押してトレーを排出し、メディアを正しくセットし直してください。

メディアに傷、汚れ、変形がある

メディアに不良がある場合、正常に音声が出力されません。

デジタル再生に対応したソフトウェアプレーヤで再生していない

音楽CDはMicrosoft Windows Media Player 7以降など、デジタル再生に対応したソフトウェアプレーヤで再生してください。
デジタル再生に対応していないソフトで再生した場合、音声が聴こえません。

Windowsの設定が適切でない

本製品で音楽CDを聴くには、デジタル再生ができるように設定する必要があります。
詳しくはWindowsのヘルプを参照してください。

書き込み時のトラブル

メディアに追記できない

ライティングソフトウェアが違っている

ソフトウェアの仕様により、前回書き込みをしたライティングソフトウェアを使用しないと、追記できません。前回使用したライティングソフトウェアで書き込んでください。

メディアの容量が足りない

新しいメディアに書き込んでください。

他社製のドライブで書き込んだメディアを使用している

他社製のドライブで書き込んだメディアには追記できません。本製品で書き込んだメディアを使用してください。

ディスクアットワンス方式で書き込んだメディアまたはセッションをクローズしたメディアを使用している

ディスクアットワンス方式、またはセッションをクローズして書き込みをしたときは、追記することはできません。別のメディアをお使いください。

作成した音楽 CDで音飛びが発生する

メディアによっては、作成した音楽 CDで音飛びが発生することがあります。その場合は書き込み速度を下げて書き込みを行ってください。

書き込みができない

メディアが対応していない

・お使いのメディアが、指定した書き込み速度に対応していることをご確認ください。メディアによって最大書き込み速度は異なりますのでご注意ください。

・別紙「はじめにお読みください」に記載してある書き込み動作確認メディアをお使いください。記載していないメディアでは、本製品に対応していなことがあります。

メディアが傷ついたり汚れが付着している

メディアが傷ついたり、ほこりや汚れが付着している可能性があります。他のメディアでもう一度書き込んでみてください。

ライティングソフトウェアが本製品に対応していない

本製品に付属しているライティングソフトウェアを使用してください。付属品以外のライティングソフトウェアを使用するときは、ソフトウェアのメーカに対応しているかどうかお問い合わせください。

音楽CDをキャプチャしたデータにノイズや音飛びが発生する

音楽CDを再生したCD-ROMドライブが対応していない

CD-ROMドライブによっては、正常に音楽CDをキャプチャできないものがあります。その場合は、本製品で音楽CDを再生してキャプチャしてください。

音楽CDに傷がある

音楽CDの傷が原因で音飛びが発生することがあります。

メディアにデータを書き込めない

ライティングソフトウェアを使用していない

本製品付属のライティングソフトウェアを使用してください。

DVD-ROM、CD-ROM、音楽CD（CD-DA）がセットされている

DVD-ROMやCD-ROM、音楽CD（CD-DA）などには書き込めません。

本製品の電源が入っていない

本製品に電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

インターフェースケーブルが正しく接続されていない

パソコンのマザーボードに接続されたインターフェースケーブルに、本製品を正しく接続してください。

メディアをバックアップ(コピー)できない

バックアップ元のメディアにプロテクトがかけてある

プロテクトのかけられているDVD-ROM、DVD-VIDEO、CD-ROM、音楽CDはバックアップ(コピー)することはできません。

パケットライト方式で書き込んだメディアを読み出せない

ドライブがパケットライト方式に対応していない

ドライブによっては、パケットライト方式に対応していないことがあります。対応したドライブで読み出してください。

本製品以外のドライブで読み出している

2層のDVD+Rにパケットライト方式で書き込みを行うと、本製品以外のドライブでは読み出せません。パケットライト方式で書き込んだ2層のDVDメディアは、本製品で読み出してください。

パケットライティングソフトが使用できない【WindowsXPをお使いの方のみ】

WindowsXPのCD-R/RW書き込み機能が有効に設定されている

WindowsXPのCD-R/RW書き込み機能を有効にした場合は、パケットライティングソフトは使用できません。[マイ コンピュータ]内DVD-Rドライブのプロパティの[書き込み]タブを選択した画面で、[このドライブでCD書き込みを有効にする]のチェックボックスをクリックしてチェックマークを外してください。

WindowsXPのCD-R/RW書き込み機能が使用できない

書き込み機能が無効に設定されている

[マイ コンピュータ]内DVD-Rドライブのプロパティの[書き込み]タブを選択した画面で、[このドライブでCD書き込みを有効にする]のチェックボックスをクリックしてチェックマークを表示させてください。

※WindowsXPのCD-R/RW書き込み機能を有効にした場合は、パケットライティングソフトは使用できなくなります。

書き込みが遅い【DVD-R/RWへの書き込みのみ】

1.1GBに満たないデータを書き込んでいる

DVD-R/RWの規格上、一度に書き込むデータ容量は1.1GB以上になります。1.1GBに満たない容量を書き込む場合は、書き込む容量が1.1GBになるまでダミーデータが追加されるため、セッションクローズ（リードアウト）時間が長くなります。そのため、書き込むデータの容量が少なくても時間がかかる場合があります。

容量が大きすぎるというメッセージが出てメディアに書き込みができない

メディアの容量が足りない

追記で書き込みをしている場合は、新しいメディアに書き込んでください。

メディアの容量よりも大きな容量のデータを書き込もうとしている

メディアの容量にあわせて書き込むデータの容量を少なくしてください。

容量表示のしかたが異なる

DVDメディアの容量を4.7GBと表現する場合、 一般的に1GB = 1,000,000,000バイトの意味になります。
一方、Windowsのエクスプローラなどのソフトウェアでファイルサイズやディスク容量を表示する場合は、
1GB = 1,024×1,024×1,024 = 1,073,741,824バイト の意味になります。
したがって、DVDメディアの4.7GBに収まるデータ容量をWindowsのエクスプローラの表示方法で表すと、
4.7/1.073741824=4.377GBとなります。
Windowsでの容量表示と、一般的に表記されているメディア容量のサイズは異なりますのでご注意ください。